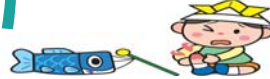




5月のほけんだより



平成30年5月発行
森川保育園

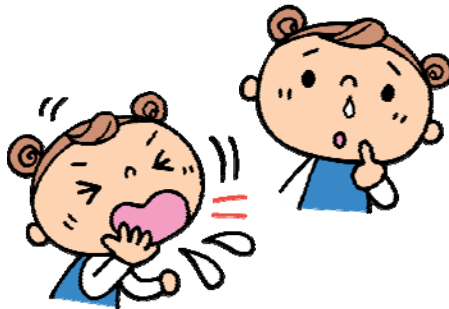
新年度スタートから1ヶ月。多くの子どもたちは新しい環境に慣れ、少しずつ自分のペースで園生活を楽しめるようになってきました。4月は保育園で、RSウイルス感染症が流行っていました。また、県内では、麻疹（はしか）の流行が続いています。空気感染する麻疹は感染力が非常に強く、乳幼児が感染すると重症化する恐れもあります。予防には2度のワクチン接種が有効とされ、定期予防接種対象者は第1期：1歳、第2期：小学校入学前1年です。宜野湾市では、接種時に生後6か月～12か月未満、MR1期が未接種で2歳以上～MR2期対象年齢前まで、MR1期・2期の両方が未接種で、小学校1年生～6年生までMR予防接種費用の助成を実施（平成30年4月1日～平成30年6月30日まで）しています。

主な症状 ～麻疹（はしか）～

潜伏期間は10日前後。はじめは熱、くしゃみ、鼻水といったかぜのような症状が出て、高熱は2～3日です。38～37℃台に下がり、再び40℃前後まで上がります。そして赤い斑点のような発疹が、首に現れ、顔、胸、手、足と全身に広がっていきます。病気の後半には、かなり強いせきが出て、発疹がつながっていきます。また、同時に結膜炎を発症することもあります。乳幼児が感染すると肺炎、中耳炎、脳炎などの重い合併症を起こすこともあるので、注意して経過を観察することが大切です。熱が下がってから3日経過するまで登園停止になっています。

潜伏期間 10 日前後

熱・くしゃみ
せき・鼻水



熱はいったん下がり、再び高熱

- ほかの内側に白い斑点
- 首筋に赤い斑点
- 顔、胸、手、足に斑点



強いせきが出る

- 発しんが
つながってくる



10 日前後で回復する

2歳未満は要注意！ RSウイルス感染症

秋から冬にかけて多くなる「RSウイルス感染症」。感染力が強く、2歳までにほぼ100%感染するとも言われます。年齢が低いほど重症化しやすく、呼吸困難になったり、気管支炎、細気管支炎、肺炎などの合併症を起こしたりすることもあるので「かぜかな」と感じたら、念のため病院へ行きましょう。

38～39℃
の高熱

ゼイゼイとい
う呼吸音



鼻水

激しいせき

せきがひどいときは……

- 体を起こすが、縦抱きにして背中をさする
- 室温は上げすぎず、加湿する
- 水分を少しずつゆっくり飲ませる



RSウイルス感染症

RSウイルス感染症にかかると、激しいせきが出て呼吸が苦しくなります。年長児は、それほどひどくなりませんが、夜になってせきが急に悪化することがあるので注意しましょう。呼吸困難を起こすと命にかかわることもあるので、下のような様子が見られたら朝を待たず、急いで受診してください。

呼吸困難のサイン

- ひどくせき込んで唇や顔色が青い
- 息をすると胸の上部がべこべこする
- 肩を大きく上下させて息をする
- 呼吸が荒く、顔や手足が冷たい
- 呼吸が速く、息をするとき鼻の穴が広がる

